函館		専門学校	交 開講年度	平成31年度 (2		授	業科目		I	
科目基础										
科目番号		0025			科目区分		専門 / 選択			
授業形態 授業						位数	学修単位:			
開設学科物質環境			(T) 学専攻		対象学年		専2			
開設期		前期	20-2-3-3-7		週時間数	2				
教科書/教		やさし	い環境科学(化学同)	1. =		· L				
担当教員		伊藤 穂	, , , , , , , , , , , , , , , ,	.,						
<u></u>		17 755 110								
1.大気の2. 地球の	- 汚染の原因(因について	「説明できる							
ルーブ!										
<i>,,</i> , , ,			理想的な到達し	理想的な到達レベルの目安標準的な到達			 3安	未到達レベルの		
評価項目:	1		NOxとSOxの排	NOxとSOxの排出原因と人への影響についても説明できる		NOxとSOxの現状について説明 きる		NOxとSOxの現状について説明できない		
評価項目	2		について説明で	地球温暖化を抑制するための方法 について説明できる		地球温暖化のメカニズムについて 説明できる		地球温暖化のメカニズムについて 説明できない		
評価項目:			カニズムについ	環境ホルモン物質の人への影響メ カニズムについても説明できる 説明できる			質の影響について 環境ホルモン物質の影響にご 説明できない		質の影響について	
	到達目標工 育到達目標		関係							
教育方法										
概要		環境工 用して してプ	学特講 I で得た知識 自分なりの意見を導 レゼンテーションを	寺講 I で得た知識をベースとして、地球温暖化や大気・ 分なりの意見を導き出せることがこの科目の到達レベル ゼンテーションを行い全員で議論する。これを通じてブ			水資源の汚染に関する基礎的知識を得、その知識を活ったする。さらに近年の環境に関する新聞記事を題材とプレゼンテーション能力の向上も目的とする。			
授業の進	め方・方法	ても十	は特に授業中に口頭 分理解すること。 ンテーションに関し ⁻						D説明内容に関し	
注意点		予習・ 「物質	復習を必ず行い、授 環境工学専攻」学習	業で習った事柄や内 ・教育到達目標の評	容に関して自分の 価:中間試験30%	言葉で 6(B-2)	説明できる。) , 期末試験	ようにしておくこ。 験30% (B-2)、発	上。 表40%(B-2)	
授業計画	画									
		週	授業内容			週ごとの到達目標				
		 1週	5章 大気の汚染	5章 大気の汚染			NOxとSOxの現状について説明できる			
				(1)窒素酸化物と硫黄酸化物						
		2週		(2)酸性雨			酸性雨の定義・環境影響について説明できる			
		3週	6草 地球の温暖化 (1)地球温暖化はた	6章 地球の温暖化 (1)地球温暖化はなぜ			地球温暖化のメカニズムについて説明できる			
	1.0+0	4週	,	(2)二酸化炭素の発生とゆくえ(コア)			CO2の発生源と吸収源について説明できる			
	1stQ	5週	() ===================================	(3)温暖化への対策 (コア)			温暖化対策の必要性とその取り組みを説明できる			
ı		6週	7章 環境ホルモン	3)温暖10、00対象(コケ) /章 環境ホルモン 1)環境ホルモンとは			環境ホルモン物質の影響にについて説明できる			
		7週	(2)環境ホルモンの	(2)環境ホルモンの作用			環境ホルモン作用について説明できる			
		8週	中間試験	(=) >10 = 10 = 10 = 10 = 10 = 10 = 10 = 10			中間試験			
前期	2ndQ	9週	発表				自分の調べてきた内容をわかりやすく説明できる。また、質問に対しても正確に質問内容を理解し、適切な答えを導きだせる。			
		10週	発表	法			自分の調べてきた内容をわかりやすく説明できる。また、質問に対しても正確に質問内容を理解し、適切な 答えを導きだせる。			
		11週	発表				自分の調べてきた内容をわかりやすく説明できる。また、質問に対しても正確に質問内容を理解し、適切な 答えを導きだせる。			
		12週	発表	発表			自分の調べてきた内容をわかりやすく説明できる。また、質問に対しても正確に質問内容を理解し、適切な 答えを導きだせる。			
		13週	発表			自分の調べたことに 自分の調べたといるでは、 た、質問に対しても正確に質問内容を理解し、適切な 答えを導きだせる。				
		14週	発表			自分の調べてきた内容をわかりやすく説明できる。また、質問に対しても正確に質問内容を理解し、適切な 答えを導きだせる。				
		15週	発表			自分の調べてきた内容をわかりやすく説明できる。また、質問に対しても正確に質問内容を理解し、適切な答えを導きだせる。				
		16週	期末試験			期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
<u> </u>		分野		学習内容の到達目	 標			到達し	ベル 授業週	
評価割る	 合	(1	,				1-3	1	
- 1 IM - 1 F				10	Luc i	1.0		1	1	
	試	検	発表	相互評価	態度	ボー	トフォリオ	その他	合計	

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	40	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0